

施策評価シート

施策等名称	競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進	体系番号	0201020504
		主管課	スポーツ健康課

1 施策基本情報

現状と課題	競技力の向上は、各学校の運動部活動、スポーツクラブ及び桐茅野市体育協会の活動が主となっています。競技力向上には、小・中・高校(ジュニア期)からの選手の育成が重要であることから、子どもを対象にしたスポーツクラブ活動における指導者、学校部活動へコーチ・監督として指導に当たる外部指導者を含め、求められる指導者が確保・養成される必要がありますが、有効な方策がない状況となっている。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	国際大会、全国大会および県大会で活躍する市ゆかりの選手の増加を目指す

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2022年度目標値	2027年度目標値
①	全国大会出場者数	全国大会出場者数(人)	67	72	72
②	全国・県大会開催数	全国・県大会開催数	0	2	2
③					

施策の柱 1	名称	選手の育成強化、指導者養成による競技力向上		主管課	スポーツ健康課		
	詳細	ジュニア選手の発掘・育成を推進し、全国大会や国際舞台などの大会で活躍できる選手を増やす。また、全国や県大会レベルの大会を開催し高いレベルに触れることで、更なるレベルアップを図る。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	スポーツ少年団員数	スポーツ少年団登録者数(人)	360	360 360	1 スポーツ団体等支援事業	実施
	2	ジュニアスポーツ教室参加者数	ジュニアスポーツ教室累計参加者数(人)	2,368	3,000 3,000	2 大会開催関連事業	実施
	3	スポーツ少年団指導員数	スポーツ少年団の指導員数(人)	56	56 56	3 教室開催関連事業	実施
	基本政策間連携						

施策の体系	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3	
	基本政策間連携					

施策の柱 3	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3	
	基本政策間連携					

施策等名称	競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進	体系番号	0201020504
		主管課	スポーツ健康課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	全国大会出場者数	67	84				
		1	72	116.67	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	個人63、団体16、世界大会等5。東海大諏訪高運動部の活躍により、全国大会出場者が増加した。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	全国・県大会開催数	0	0				
		2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	施設規模・設備・日程が開催希望団体と合致しなかった。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	スポーツ少年団員数	360	350				
		1	360	97.22	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	小学校3年～6年生の児童数が減少していることや、競技系スポーツが敬遠される傾向にあること等が推考される。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	ジュニアスポーツ教室参加者数	2,368	1,832				
		2	3,000	61.07	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	陸上競技が実施できなかったことや、野球やバレーボール部員の減少に伴い、参加者数が減少となった。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	スポーツ少年団指導員数	56	49				
		3	56	87.50	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	指導員をやっていた保護者が、子どもの少年団退団(小学校卒業)と同時に辞めたことによる。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進	体系番号	0201020504
		主管課	スポーツ健康課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	13,168,275	14,888,000	1.13		
	うち一財(円)	10,643,275	11,153,000	1.05		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		やや遅れている				
総合評価	主な取組内容や成果	全国大会等出場者やスポーツ少年団への支援実施。全国大会等への出場者数は、高校運動部の活躍もあり増加、スポ少活動は前年並みであった。				
	課題	スポ少の指導者は指導者資格が必要なため、長期間継続してできる指導者が求められる。また、中学生の社会体育活動の見直しにより、ジュニアスポーツ教室の見直しが必要となった。				
改革・改善	改革・改善内容	ジュニアスポーツ教室の要綱を見直し、長野県中学生期のスポーツ活動指針に合致した教室とする。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事務事業	3			
	理由	中学生期のスポーツ活動指針等の変革期にあり、従来の要綱では通じなくなったことから、使いやすい制度で成果が得られるような、内容の見直しを行う必要があるため。				

作成担当者	上条 直之				
最終評価責任者	平出 信次				
最終評価年月日	R1.7.23				